

平成21年第1回羽村市議会（定例会） 一般質問通告項目一覧表

発言順	議席番号	議員氏名	質問項目	質問日
1人目	2番	大塚あかね (60分)	<p>1 羽村市富士見霊園に合葬式墓地の開設をのぞむ</p> <p>(1) 霊園管理手数料の滞納の原因は何か</p> <p>(2) 無縁墓地について何う</p> <p>① 現在、何体の遺骨が埋蔵されているのか</p> <p>② 無縁墓地に改葬、または埋蔵されるに至った経緯について何う</p> <p>(3) 羽村市富士見霊園条例第14条「使用許可の取り消し」について</p> <p>① 第14条第1項第2号「住所不明となり10年」は期間が長すぎるのではないか</p> <p>(4) 市民の墓地に関する意識調査を行うべきではないか</p> <p>(5) 墓地返還促進事業（仮称）を検討したことはないか</p> <p>(6) 合葬式墓地を開設すべきではないか</p> <p>2 市内公共施設利用料金に関して</p> <p>(1) 利用料金について</p> <p>① 生涯学習センター「ゆとろぎ」、スポーツセンター、スイミングセンターなど市内在住・在勤者と市外利用者の利用料金の設定を見直してはどうか</p> <p>② 郷土博物館は市外利用者（団体客など）には入館料を徴収してはどうか</p> <p>(2) 駐車料金について</p> <p>① 市外利用者には駐車料金を徴収してはどうか（団体客など）</p>	2月26日
2人目	14番	露木諒一 (60分)	<p>1 平成21年度、重点施策について問う</p> <p>(1) 市長はこの「100年に一度」といわれる未曾有の経済危機に対し、どう認識しているか、またどのような決意で臨んでいるか</p> <p>(2) 当市では緊急経済対策をこれまで4段行っているが、経済状況はまだまだ厳しい状況である。今後さらに対策を打つべきであると考えがどうか</p> <p>(3) 行政のムダゼロへの取り組みについて</p> <p>① すべての事業を徹底した事業仕分け、事業評価の見直しをすべきであると考えがどうか</p> <p>② スポーツセンター・図書館や「テレビはむら」の製作委託等、更なる民間活力の導入をすべきと考えるがどうか</p> <p>③ NPO・地域活動団体などと行政が、共に知恵と力を出し合いながら取り組む、市民協働モデル事業を推進したらどうか</p> <p>④ 発生主義の視点を導入した「新たな公会計制</p>	2月26日

3 人目

6 番

小 宮 國 暉
(60 分)

度」の活用で質の高い行政サービスの提供と将来にわたる財政への検証が不可欠であると思うが市の考えは

(4) 羽村駅西口区画整理事業について

- ① 財政状況が厳しい中、羽村駅西口区画整理事業の財政の見通しはどうか
 - ② 羽村駅西口駅前広場の今後の整備計画について伺う
 - ③ 現在、換地設計案に対する意見、要望を踏まえ見直し方針案について土地区画整理審議会で審議されているが、その状況は
- (5) 高齢化の急速な進行により、医療、福祉、介護等の給付も増えていくと予測されるが、現下の経済状況にかんがみ、平成 21 年度の利用者負担増を抑制すべきと考えるがどうか

1 さらなる行財政改革への取り組みを

- (1) 不況の長期化がさげばれ、深刻化が進んでいる現状において、市が策定した平成 21 年度より 23 年度までの間の実施計画について
- ① 平成 21 年度予算編成にあたっての課題と対策はどのようなものがあるか
 - ② 平成 22 年度以降の歳入が大幅に不足しているとされているが、具体的な対策が検討されているか
- (2) 市は行政事務にマネジメントサイクル「PDCA」の考えを採用しているが、このシステムでは急速に変化する経済・社会情勢に対して対応が遅れてしまう。現状を早く把握、チェックし、スピーディーに対処、措置する「CAPD」の考えかたに早急に切り替えるべきと思うが如何か
- (3) 激変する経済・環境・社会情勢に対処するには、行財政改革の推進は必須の課題である。現在どのようなシステムが構築されているか。また市民、学識経験者や行政の職員等からなる改革委員会の設置が必要と考えるが如何か

2 今後の国民健康保険事業運営について

- (1) 実施計画における課題は
- ① 平成 21 年度から 23 年度の一般会計からの繰入金の内、赤字補てん分はどれくらいを想定しているか
 - ② 毎年度保険給付費が 1 億円以上増加している。その要因は何か
- (2) 課題解決のための対策は
- ① 一般会計からの繰入金を縮減するための対策はあるのか
 - ② 保険給付費を縮減するための対策はあるのか
 - ③ 保険税の改定は予定しているか
- (3) 市は中・長期的見通しに立った事業経営のシ

2 月 26 日

4人目

8番

石居尚郎
(60分)

ミュレーションは立てているか。保険料の負担や市の法定及び法定外負担はどのように変化していくと見込んでいるか

- (4) 中・長期の課題として後期高齢者医療保険制度の見直しと合わせ、市町村単位の運営から都道府県の運営への移行なども検討されていると聞く。保険者である市はこうした動向をどのように認識し、課題や問題点をどのようにとらえているか

3 子どもたちの安全確保について

- (1) 現在、各学校では子どもの安全対策、特に学校内の不審者等の対策についてどのように取り組んでいるか
- (2) 羽村市 PTA 連合会が通学路の安全点検を行っているというが、市は、どのように報告を受けているか
- (3) この安全点検の結果をもとに、市は通学路の安全をどのように確保していくのか
- (4) 学校内や通学路の安全対策も含め、市、地域、関係機関がより連携を深め、子どもたちの安全確保に努めていく必要があると思うが、さらなる安全が確保されるよう、今後の市の取り組みについて伺う

1 幼保一元化と今後の保育行政について

- (1) 幼保一元化を羽村市はどのように認識しているか
- (2) 庁内に設置した「羽村市保育施策等のあり方検討委員会」での、今後の子育て施策のあり方についてどのような検討結果が得られたのか
- (3) 「認定こども園」をどのように推進していくのか
- (4) 公立保育園の民営化について市の考えを聞く
- (5) 新たな保育の仕組みを検討するにあたり、「子どもの最善の権利を守る」観点から、「量」の確保以上に、「質」の担保が必要不可欠との考えで推進すべきではないか
- (6) 今後保育制度の検討に当たっては、幼稚園、私立保育園、公立保育園、認証保育所、家庭福祉員、保護者等、現場との意見交換を十分に行い、共通認識・共通理解のもと進めるべきと考えるがいかがか

2 現場からの教育改革を

- (1) 学校・家庭・地域がより協力できる環境を整えるべきではないか
- (2) 学校という場は、人間形成の場とともに、学問を修め習う場であるという原点を踏まえ、学校教育を進めていくべきと考えるがどうか
- (3) 教師が教材研究、児童・生徒に向き合う時間の確保を支援せよ
- (4) 学校の事務事業の簡素化、効率化を図るべき

2月26日

5 人目

4 番

橋 本 弘 山
(60 分)

- ではないか
- (5) 教師一人一台のパソコンの普及を急げ
 - (6) 特別支援教育の副籍制度の充実を図れ
 - (7) 教育相談員を全学校に正職員として配置する道筋を拓け
 - (8) 学校図書館に書籍と専門的人材の両面の充実を
 - (9) 小中一貫教育推進へ、共感と理解の拡大を
 - (10) こども議会を検討してはどうか
 - (11) インターネット・携帯電話の適正な利用についての具体的対応は

1 貴重な樹林地、緑地を残す施策について

- (1) 緑地が減少しつつある中で、緑地保存を目的とした借地の状況について
 - ① 緑地公園の状況は
 - ② 畑の状況は
 - ③ 根がらみ前水田の状況は
- (2) 生産緑地について
 - ① 過去の生産緑地の買取り請求と買上げ状況は
- (3) 根がらみ前水田について
 - ① 地権者の数は
 - ② 生産緑地指定は何パーセントか
 - ③ 外周道路に面した水田の地権者の数は
 - ④ そのうち生産緑地指定をしていない水田はあるか
- (4) 農業政策面から根がらみ前水田を残す施策について
 - ① 特定市民農園の調査、研究を進めていく考えは
 - ② 「都市農地保全推進自治体協議会」の目的とこれからの役割は
- (5) 財政面から根がらみ前水田、緑地を残す施策について
 - ① ふるさと納税の応募状況は
 - ② 「寄付金による緑の基金」(仮称)の設置を
 - ③ 「住民参加型ミニ市場公募債」を導入したらどうか
- (6) 財政状況の厳しい中で、今後、水田、緑地保全をどう進めていくのか

2 消防団員資格の一部拡大について

- (1) 現在、羽村市での昼間の災害に対して対応可能な消防団員の割合は
- (2) 現在、羽村市での消防団員全体に占める被雇用者の割合は
- (3) 「消防団協力事業所」に該当する羽村市内の事業所の数は
- (4) この制度に該当する事業所を、市の入札の際の貢献度のポイントとして取り扱う考えは
- (5) 今後、「消防団協力事業所表示制度」を周知させ、協力事業所を増やす予定は

2 月 26 日

6 人目

3 番

西 川 美佐保
(60 分)

- (6) 現在、羽村市では消防団員資格が「在住」のみであるが、「在勤」の枠を設けている近隣自治体の数はどのくらいあるのか
- (7) 今後、消防団員確保のために「在勤」、「年齢枠の拡大」等を見直していく予定は

2 月 27 日

1 環境・エネルギー対策について

- (1) 太陽光発電の更なる普及について
 - ① 再編交付金の一部等を活用し、公共施設及び小中学校に太陽光発電を設置してはどうか
 - ② 住宅用太陽光発電システム普及の為、21 年度に国と都で補助金が予算化の予定と伺っているが、市はこれに上乘せし、補助または減税をする考えはないか
- (2) 大きく補助金がつく電気自動車への PR について
 - ① 2009 年度発売予定の軽の電気自動車は、国や都で補助金が出て 200 万円前後で購入可能と聞いているが、この情報をどう市民に伝えるのか
- (3) 「省エネルギーアドバイザー」の導入について
 - ① 家庭における CO₂ 排出量の削減のため、「省エネルギーアドバイザー」を導入してはどうか
- (4) 緑化促進のため、幼稚園、保育園、小学校、中学校の校庭を芝生化してはどうか
- (5) 羽村市独自の「水検定」を行ない、羽村の水の歴史を市民が学ぶ機会としてはどうか

2 雇用就業対策及び若者支援について

- (1) 就労相談窓口開設について
 - ① 今後臨時ではなく常設の「就労相談窓口」の開設について市の考えを伺う
 - ② 30 代フリーターの方が正社員となるための支援や、女性の再就職支援も合わせて行なってはどうか
- (2) 若者が働き続けられるように支援するため、就労支援ネットワークを作り、様々な職種のボランティアを結成し、支援体制を作ってはどうか
- (3) 今後、市として「雇用の創出」で考えていることはあるのか
- (4) 将来的な少子化対策のため、結婚を希望する市内独身男女に出会いの場を
 - ① 「ゆとろぎ」主催で、会費制の「出会いのイベント」を企画してはどうか

3 「子育て支援」と「放課後子ども教室」について

- (1) 義務教育就学児医療費について
 - ① H20 年 9 月議会で、「医療費の無料化を中 3 まで拡大」を質問したが、その後の状況について伺う

			<p>②H21年10月1日からの新制度によって、市民の負担はどう変わるのか。</p> <p>(2) 妊婦健診14回無料化について</p> <p>①これまで数回質問したが、財源も含めその後の結果は。また、今後とも継続した事業となるのか</p> <p>(3) 不妊治療費助成は都と市で年間どのくらい助成され、PRはどうするのか</p> <p>(4) H20年9月議会で「自然休暇村」の25市または区との連携について質問したが、その後の状況を伺う</p> <p>(5) 放課後子ども教室について</p> <p>①H20年3月議会で質問したが、その後の進捗と取り組み状況を子ども家庭部と教育委員会と双方に伺う</p>	
7人目	12番	<p>中 根 康 雄 (60分)</p>	<p>1 市内業者に優先発注を、について</p> <p>(1) 工事・納品等で受注した市内業者の割合と契約金額の率は</p> <p>(2) 入札資格・手続・提出書類等の簡素化はされているか</p> <p>(3) 今後、市内業者に工事や納品等の契約事案を当面優先発注する考えはあるか</p> <p>2 羽村市の学校教育の諸問題について</p> <p>(1) スクールガードの現状はどうか</p> <p>(2) トイレ掃除は誰がどのようにしているか</p> <p>(3) 親の現在の教育への不満は何だと認識し、どう対処しているか</p> <p>(4) 児童一人当たりの小学校費の割合が極めて低い、東京都49区市中どの程度で、それは何に起因し、増額する考えは無いのか</p> <p>(5) 学校経営に外部評価を導入する考えは無いのか</p> <p>3 西口区画整理の今後の進め方について</p> <p>(1) 見直し作業はどこまで進んでいるか。またそれをいつ頃発表できる予定か</p> <p>(2) 財政状況が厳しくなる中、整備することを前提に事業の進め方を考え直す考えは無いのか</p> <p>(3) 最小の投資で最大の効果を上げるためにはどのような方法が最適と考えるか</p> <p>(4) 事業にどのような付加価値をつける計画か</p> <p>(5) 都市計画道路3・4・12号線の進捗状況はどうか</p> <p>(6) 現不適格建築物の取り扱いと、移転により不適格となるものへの対応はどうするのか。また日照・通風への配慮はどうするのか</p>	2月27日
8人目	15番	<p>門 間 淑 子 (60分)</p>	<p>1 武蔵野小学校前のスクールゾーン指定はいつからか</p> <p>(1) 武蔵野小前の通りの交通量調査の結果は、どのようなものだったか</p> <p>(2) 保護者・地域住民の方々は、4月からの実施</p>	2月27日

9 人目

1 番

鈴木拓也
(60 分)

を望んでいるが、関係機関との調整や準備は進んでいるか

2 教育課題について

- (1) 中学校にも学習サポーターを早急に配置すべきではないか
- (2) 各校に図書館司書の常時配置が必要ではないか
- (3) 教育委員会定例会の会議録を、ホームページ上に継続して掲載すべきと考えるがどうか

3 予算編成過程の公開を

- (1) 21 年度予算は、どのような日程で編成されたか
- (2) 羽村市でも、予算編成過程をホームページ上に公開してはどうか

1 小中一貫教育校、2 学期制について問う

- (1) 小中一貫教育校検討委員会・第 2 次報告について

- ① 「施設分離型」一貫校についてはどういった内容を最終報告にもりこむのか
- ② 「英語」および「羽村 3 学」以外の教科のカリキュラム検討とは、具体的にはどのような内容か
- ③ モデル校（武蔵野小、3 中）における学校体制や教育課程についての研究・開発の担い手は誰か。どういったスケジュールですすめられるのか。内容はどのようなものか
- ④ 検討委員会の「最終報告」はいつごろ出される予定か。また、最終報告が遅れ、検討内容が増えるもと、（仮称）羽村学園の開校予定が 22 年度と最初のスケジュールどおりとなっているが、なぜか

- (2) 2 学期制について

- ① 「前期後半に夏休みがはさまれることにより、テスト前に十分な学習が保障されない。また、学期の区切りがつきにくくメリハリがない」との父母・教員の意見がある。この課題についてどう認識しているのか。どう対応をとるのか
- ② 「部活動で、3 学期制の他自治体校との試合などの際に無理が生じている」という父母・教員の意見がある。この課題についてどう認識しているのか。どう対応をとるのか
- ③ 「導入から 5 年間が経過するが、成果が実感できない」との父母・教員の意見がある。この点についてどう認識しているのか
- ④ 「保護者や教員に十分な説明と合意を経ないで 2 学期制が導入された」という父母・教員の意見がある。この点についてどう認識しているか
- ⑤ 実施 5 年目の検証作業のスケジュールはどうか。その内容をどう生かす考えか

2 月 27 日

10 人目

7 番

馳 平 耕 三
(60 分)

1 少子高齢化社会到来の中、羽村市は今何をなすべきか

- (1) 羽村市でも少子高齢化が進行し、歳入の減少、歳出の増加が避けられない中で、市は持続可能な市政とするために何をなすべきだと考えているか
- (2) 今後、基金残高は、最低でもどの水準を維持したいと考えているか
- (3) 新年度の予算で経常収支比率は何%になるか。また、90%以下にするためには、何をすべきだと考えているか
- (4) 今後、市債が大幅に増えると考えられるが、一番高くなるときで、公債費比率は何%になるか。また、公債費比率を何%以下に抑えるという目標数値はあるか
- (5) 財政規模を縮小しダウンサイジングへ政策転換すべきだと考えるが市はどう考えるか

2 月 27 日

2 市内企業の雇用・市民の雇用と、地域経済を守るために

- (1) 市内企業の雇用状況の把握をおこなうことを昨年 12 月に市は発表したが、その結果はどうだったか
- (2) 労働者派遣法についての国会論戦（2 月 4 日衆院予算委・志位和夫氏）の中で、政府は違法な派遣労働についての新たな答弁をおこなっている。（偽装請負期間と派遣労働期間の合計が 3 年以上、クーリング期間と派遣労働期間の合計が 3 年以上、同一業務を派遣労働で 3 年以上でおこなう、これらはいずれも違法という内容。）これらに該当するケースは多いと考えられ、派遣先企業は直接雇用を申し出なければならない義務をおっている。雇用を守るため、このことについて、市内企業への周知徹底、広報等で市民への周知をおこなうことが必要と考えるがどうか
- (3) 市の緊急雇用対策事業の結果はどうだったか。来年度にむけてどのような課題があると考えているか

3 使いやすいゆとりぎにするために問う

- (1) 「部屋の場所がわかりにくく困る」との声が大きい。わかりやすい案内板・誘導サインなどを設置すべきではないか
- (2) 「足が不自由な人などのために、正面に車止めスペースが必要ではないか」との声がある。設置を検討すべきではないか
- (3) 「中央の円形屋外ステージがあまり利用されていない」との声がある。どう認識しており、どう利用促進をはかる考えか
- (4) 「使用料が高い」との声がある。利用を促進するために引き下げる必要があると考えるがどうか

11 人目

16 番

市 川 英 子
(60 分)

(6) 今後、この人口統計の数値をもとに長期総合計画を立てるべきではないか

2 再度、定額給付金について問う

(1) 定額給付金の事務費はいくらになると見込んでいるか

(2) 事務費のうち、金融機関の手数料、郵送費、人件費はいくらになると見込んでいるか。また、いくつの金融機関を対象にする考えか

(3) 羽村市は、定額給付金をいつから配る考えか

(4) 住民基本台帳を利用する時、個人情報保護審議会に諮る考えは無いか

(5) 定額給付金を市に「ふるさと納税」できる仕組みを作り、市民が用途を指定できるように対応できないか

(6) 定額給付金による羽村市への経済効果はどの程度になると考えているか

(7) どういう事務作業の混乱が予想され、それにどう対応するつもりか

(8) 振り込め詐欺、個人情報漏れなどの対策はどう講じる考えか

3 経済危機の中、弱者対策に重点を置くべきではないか

(1) 新年度、保育園・学童の受け入れ態勢はどうなっているか。待機児童数はどうなるか

(2) 生活保護の申請件数は、この4ヶ月、前年度と比較してどのくらい増えたか

(3) 新年度の予算の中で、廃止になった事業、規模が削減になった事業はいくつあり、どれぐらいの効果額を見込んでいるか

(4) 新年度、どのような行財政改革に取り組み、どれぐらいの効果額を見込んでいるか

(5) 羽村市の緊急雇用対策事業の応募は何人か。また東京都の雇用対策費をどう使う予定か

(6) 経済的な理由で学校に通えなくなった子どもの数を把握しているか。また、新たな奨学金を交付する考えは無いか

1 羽村駅西口区画整理事業は一時中止せよ

(1) まちなみ第26号によると今後「見直し検討」を行うとのことである。その件について伺う

① 事業計画の変更ということなのか伺う

② 減歩率が変わるのか伺う

③ 都市計画道路が変わるのか伺う

④ 事業年度や総額は変わるのか伺う

(2) まちなみ第26号によるとご意見、ご要望を頂いた方は個別に回答したとあるが全員が市の回答で納得をしたのか伺う

(3) 土地の先行取得について伺う

① 今まで土地の取得で総額いくらのお金が使われたか伺う

② 今後土地の取得の予定はどのくらいを見込んでいるか伺う

3月2日

12 人目	18 番	中 原 雅 之 (50 分)	<p>(4) 今後、市の収入は減ることが予想される。このまますすめば羽村全市民の福祉やサービスの後退は明らかである。せめて事業を一時中止し、住民参加で今後の進むべき方向を考えるべきと思うが市の考えを伺う</p> <p>2 障害者福祉について</p> <p>(1) 障害を有する児童の放課後対策について伺う</p> <p>(2) 羽村市障害者相談支援事業について伺う</p> <p>① 体制（人員の配置等）・相談の内容はどうか伺う</p> <p>② ホームヘルプサービスについては対応出来ているか伺う</p> <p>③ ショートステイについては対応できているか伺う</p> <p>(3) 地域自立支援協議会を立ち上げるべきと思うが市の考えを伺う</p>	3 月 2 日
13 人目	9 番	濱 中 俊 男 (55 分)	<p>1 保育園の増設と親子の遊び場確保を</p> <p>(1) 来年度において、保育園に入所を希望しながら、入所できない子どもはどれくらいになる見通しか（年齢ごとに）</p> <p>(2) 羽村市長期総合計画・後期基本計画実施計画（平成 21 年度～平成 23 年度）によると市立東保育園の増築で 0 歳児保育を実施とあるが、他の年齢も含めて定員拡大を早期に実施する必要があると思うがどうか</p> <p>(3) 家庭保育をしている保護者と子どもが気軽に遊びに行ける場を、既存施設の活用を含め、積極的に確保すべきと思うがどうか</p> <p>2 特定健康診査について</p> <p>(1) 特定健康診査・保健指導について市はどう評価しているか。問題点などについて、国・都に意見をあげているか</p> <p>(2) 今年度の特定健診事業及び、ヘルスアップ健診の実績と来年度の目標はどうか</p> <p>1 奥多摩街道の通行規制について</p> <p>(1) 通行量について</p> <p>① 奥多摩街道・新奥多摩街道の通行量は</p> <p>② そのうち、大型車は</p> <p>③ ダンプカーの通行量は。またダンプカーの会社名を把握しているか</p> <p>(2) ダンプカー等の通行規制について</p> <p>① 奥多摩町や青梅市では、通行を自粛する協定を結んでいると聞いている。一定時間帯での通行を規制すべきと考えるがいかかが</p> <p>② 制限速度の遵守を働きかける考えはないか</p> <p>2 「多摩国体」について</p> <p>(1) 開催までの準備について</p> <p>① 当市の開催までの年度毎の計画は</p> <p>② 予算のうち、国・都等からの補助金・助成金</p>	3 月 2 日

14 人目

5 番

山 崎 陽 一
(60 分)

ほどのくらいか

(2) 開催へむけた市民の意識向上について

① 市民向けの事業を行う計画はあるか

3 東京オリンピック招致について

(1) 計画について

① 東京都よりどのような説明があったか

(2) 支持率について

① 市としてその向上にむけ対策を取るべきと考えるがいかがか

1 財政の長期的見通しを聞く

(1) 21 年度予算では収支が 0 になっているが、財政調整基金繰入 9 億 5293 万円、市債では臨時財政対策債の借り入れ 6 億 8000 万円で実質的な赤字と思われる。プライマリーバランスはどうなっているか

(2) 普通会計財政収支試算で、22 年度は 7 億 5400 万円、23 年度は 5 億 3500 万円の歳出超過だ。どのように赤字を解消する計画か

(3) 事業見直しにより歳出削減をするのであれば、金額の大きいと思われるものから 5 項目示されたい

(4) 歳入改善のための方策を、額の多いものから 3 項目提示されたい

(5) 平成 24 年度以降、10 年、20 年先の財政見通しの試算を聞きたい

(6) 平成 33 年度までの区画整理総事業費 355 億円のうち、市費は 244 億円の支出予定だ。長期的に見て財政破綻の引き金にならないか

2 区画整理、換地設計(案)の意見書への回答について

(1) 580 人から 871 件の意見、要望書が出た。12 月 22 日付けで、権利者の皆様へ、との書面が送られてきた。これと、この内容が議会で答えた個別の回答か

(2) 換地に関するものと、それ以外の意見を併記した意見書はどう扱ったか

(3) 権利者の 58%、620 人は提出していない。この方々の事業や換地設計(案)に対する意向確認は、どのようにするつもりか

3 月 2 日